



TOPICS

CSPI-EXPO 2018にG空間情報センター出展

去る8月27日～30日にかけての3日間、幕張メッセでCSPI-EXPO2018が開催されました。CSPI-EXPO2018は建設・測量業界の今後の業界人口の急激な減少に伴う課題を想定した生産性向上を目的とした展示会で、今年初開催となりました。



今回この建設・測量業界の皆様にもG空間情報センターを知っていただくことを目的としてブース出展をさせていただきました。

展示会全体の来場者数は各日とも約1万人にも上り、G空間情報センターブースには、3日間で延べ500人以上の方が来訪してくださいました。

G空間情報センターブースにお越しいただいた殆どのお客様は、「G空間情報センターを知らない」という方で、たくさんの方にセンターを知っていただく充実した時間となりました。

次回のイベント出展は、11月のG空間EXPOを予定しております。別途また皆様にご案内させていただきますので、是非会場へお越しください。



データ利用会員サービス(有償)の開始

通常、購入しないと利用できない有償データ(一部)をプロポーザルや試用に限り、何度でも利用できる有償会員サービスを開始しました。有償セミナー無償特典等もあります。詳しくはG空間センターホームページをご覧ください。

アクセス状況

▶ アクセス数

- ✓ 登録ユーザー数 : 3,665名(9/1現在)
- ✓ 期間アクセス数 : 341,729件
(7/1-8/31)

▶ 登録データ (9/1現在)

- ✓ 登録組織数 : 325組織
- ✓ データセット数 : 2,462セット
- ✓ ファイル数 : 28,511ファイル

上位アクセスデータ

集計期間 : 2018年7月1日～8月31日

1. 通行止め情報/道路情報提供システム(四国地方整備局)(国土交通省 道路局)
2. 通行止め情報/道路情報提供システム(近畿地方整備局)(国土交通省 道路局)
3. 通行止め情報/道路情報提供システム(九州地方整備局)(国土交通省 道路局)
4. 通行止め情報/道路情報提供システム(中国地方整備局)(国土交通省 道路局)
5. 将来人口・世帯予測ツールV2(H27国調対応版)/利用規約(国土交通省 国土技術政策総合研究所)
6. 将来人口・世帯予測ツールV2(H27国調対応版)/将来人口・世帯予測ツールV2(H27国調対応版)のイメージ(国土交通省 国土技術政策総合研究所)
7. 平成30年7月豪雨 通行実績マップ/2018年7月11日通行実績マップ(一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会)
8. (3)工学的基盤(Vs=700m/s相当層)における長周期地震動波形_11_埼玉県/利用規約(内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」及び「首都直下地震モデル検討会」の両検討会)
9. リアル3D都市モデル/サンプル画像(品川)(アジア航測株式会社)
10. 徳島県ライブカメラ等/徳島県ライブカメラ等一覧(徳島県)

お知らせ

- ▶ 2018.10.09-10【イベントご案内】徹底! G空間データマスタークラス(福岡) 詳細はHPをご確認ください。
- ▶ 2018.09.05【公開】2018年9月4日 台風21号 大阪府・兵庫県・和歌山県通行実績マップを公開しました
- ▶ 2018.08.11 システム連携のためのAPIマニュアルを公開しました
- ▶ 2018.08.07 G-spatial information Center news letter Vol.8
- ▶ 2018.07.31 「xData Alliance」の発足とG空間情報センターの参画
- ▶ 2018.07.17【公開】G空間情報センターニュースレター(2018年7月)を公開しました。

データ公開情報

- ▶ 2018.08.31【公開】東京駅周辺屋内地図オープンデータを公開しました(提供: 国土交通省 政策統括官)
- ▶ 2018.08.08【公開】松江駅構内人流センサデータ、2018年7月分を公開しました。(提供: 一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会 人流解析チーム)
- ▶ 2018.07.31【公開】将来人口・世帯予測ツールV2(H27国調対応版)を公開しました。
- ▶ 2018.07.10【公開】松江駅構内人流センサデータ、2018年6月分を公開しました。(提供: 一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会 人流解析チーム)
- ▶ 2018.06.08【公開】松江駅構内人流センサデータ、2018年5月分を公開しました。(提供: 一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会 人流解析チーム)

コンテンツ紹介

Pick UP!! 通行実績データ パイオニア株式会社

パイオニア製カーナビゲーションより取得した通行実績データです。

1. 災害の発生の有無に寄らず、1時間毎に通行実績データを生成しております。
2. 防災・減災、復旧・復興を使用目的とする限り、災害時・平常時、災害の規模、災害の種類を問わず活用いただけます。
3. 日本全国の道路をカバーしております。
4. プライバシー保護のため、3台以上の通行実績が確認できない道路の通行実績データは生成されません。
5. 交通規制や渋滞状況を表示できる地図サービスに通行実績データを簡単に重ねて表示できます。

■仕様

データ形式: KMZ(KML形式のファイルをZIP圧縮)

- ・ファイル構成: 全国1ファイル
- ・データ仕様:
ファイル1 1時間ごとに過去1時間分を集計
ファイル2 1時間ごとに過去2時間分を集計



*サンプルイメージです

注目の新規登録データ

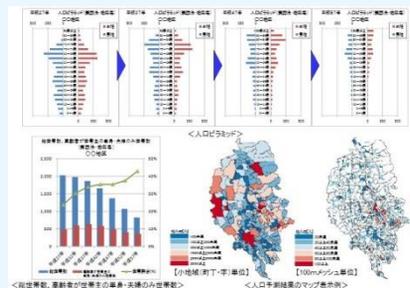
将来人口・世帯予測ツールV2

(提供: 国土技術政策総合研究所)

お待たせしました、64bit対応かつ平成27年度国勢調査を反映した「**将来人口・世帯予測ツールV2**」が利用可能となりました!

グラフ機能の充実も図り、より使いやすくなりました。

ぜひ、ご利用ください!



G空間情報センター活用Q&A

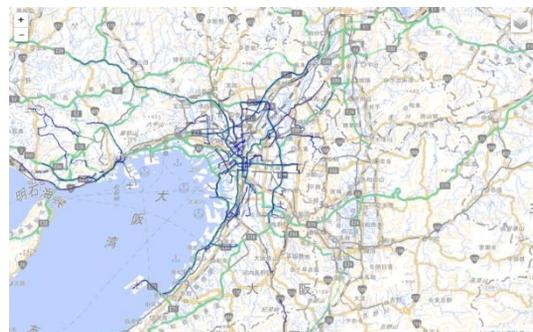
Q) 災害時にはどのようにG空間センターを活用することができますか?

A) G空間情報センターでは、災害時対応のためにデータプロバイダの皆様と災害時協定を締結しており、ユーザーに必要情報を期間限定で提供しています。

■平時では購入していただく必要のあるデータセットを、災害対応を目的に期間限定で無償提供。

■データの種類のデータプロバイダ様によって異なるため、必要に応じてデータを選択してください。

☆災害時にこんなデータが欲しい、こんなデータは自社から提供できる、などございましたら、お気軽にG空間情報センターのお問合せフォームよりご連絡をお願いします。



*パイオニア株式会社様から提供された通行実績マップ(イメージ)です。

センター運営担当者レポート

平成30年7月豪雨により、西日本の広範囲で土砂災害や河川氾濫などの甚大な被害が発生しました。被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早く元の生活を取り戻せますように祈念いたします。

G空間情報センターの役割の一つに「災害対応情報ハブ」があります。具体的なアクションとしては、国または地方公共団体にて災害対策本部の立ち上げをトリガーとして、国や民間企業等から提供された被災地の地図に関する情報を配信し、状況によってはトップページを災害モードとして、アイキャッチ画像を関連するものに差し替え、配信している災害関連情報をすぐに参照できるリンクを配置します。今回の災害で配信した情報は、「データセットの検索」欄に「平成30年7月豪雨」と入力して、検索すると一覧を見ることができます。

G空間情報センターでは、今後も災害時に速やかに現状把握、復旧・復興などにお役立てできるような情報を収集・配信してまいります。(災害防災開発担当)